

夫婦が大多数)があるし、そのために生存分析等の手法が使えないので、解釈については注意が必要である。また、標本規模が大きいので、かなりの独立変数の効果が有意になることに留意し、有意な効果をもたない変数にも注目する必要がある。また、日本のデータセットでも台湾のデータセットでも日本人同士の夫婦や台湾人同士の夫婦といった比較対照群がないことから、各規定要因の効果を解釈しにくい。モデルが異なるため、筆者による分析の結果<sup>45)</sup>との直接的比較がしにくいので、同様な限定条件を付けた類似のモデルをJGSS (日本版総合的社会調査)やTSCS (台湾地区社会変遷基本調査)のマイクロデータに適用して比較検討することを試みる必要があるかもしれない。

日本でも国際結婚・国際児に関する現状把握のため、中華民国内政部の「外籍與大陸配偶生活状況調査」(2003年)や韓国保健社会部調査(2005年)を参考にした標本調査が必要であろう。「国勢調査」・「人口動態統計」等の既存の官庁統計のより詳細な集計・分析も必要であるが、今回の比較分析の結果、外国人女性配偶者の家族形成行動を分析する上で「国勢調査」のみを利用するには限界があることを再認識させられた。既存の他の官庁統計調査でも外国人を調査対象として含む場合もあるので、多言語の調査票を用意するとともに国籍、出生地、言語、宗教等を調べる必要がある。

また、台湾や国内の地方自治体の国際結婚・国際児対策を調査、分析し、家族政策、ジェンダー政策、多文化共生政策の中に政策分野として位置づけるとともに、政策間の調整をはかる必要がある。実際、日本でも地方自治体レベルでは国際結婚の外国人女性配偶者や国際児への各種施策が実施されてきたが<sup>46)</sup>、国レベルの施策では台湾だけでなく、韓国にも遅れをとっているようである<sup>47)</sup>。東京区部ではすでに国際結婚が婚姻総数の1割を超えているし、全国平均でも近い将来、西欧諸国や台湾・韓国と同様に少なくとも1割を超える可能性が高いので、これらの国々の実例を参考にしながら社会保障制度、労働者福祉、女性保護、言語文化教育等の各分野を包括するような総合的な社会的統合政策を実施する必要がある。

それと同時に、台湾のように外国人女性配偶者や国際児への対策(少子化対策も含む)を人的資源政策や人口政策の一環としても位置づける必要があるかもしれない。行政院経済建設委員会「新世紀第二期人力発展計画」(2005年8月23日)では人口構造上の不均衡として少子化、高齢化とともに、外来人口急増が挙げられ、多元文化教育の必要性増大が強調されている。また、同委員会の「现阶段外籍與大陸配偶移入因應方策」(2004年6月16日)でも人口政策的観点を含め、移入人口のために多元文化的社会環境を醸成する必要性が述べられている<sup>48)</sup>。また、行政院の「中

45) 小島(2005 a), Kojima (2006 b).

46) 松本(1995), 渡辺(2002).

47) Seol (2005).

48) 中華民國行政院經濟建設委員会(2005, 2004).

194

華民國人口政策綱領」(2006年6月14日改訂)でも移入人口の社会的統合を強化する必要性が述べられ、そのための社会サービス支援・労働権保障、言語訓練・生活適応支援が検討されている<sup>49)</sup>。

目的
結婚 結婚 人口 性
 将来の東アジア・南アジアにおいて予想される適齢期性比不均衡に伴う男性結婚難の影響が国際結婚市場を通じてわが国に及ぶ可能性が強いため、国際結婚市場で競争上不利にならないよう、わが国における国際結婚を通じた配偶者流入に関する障壁を除去するとともに、国際結婚を通じた配偶者流出対策として「国内結婚」の魅力を高めるための施策も必要であろう。それとは別に、近い将来、ASEAN+3(+台湾+北朝鮮)や別の枠組みで国際労働移動とともに、国際結婚・国際児に関する何らかの国際的取り決めが必要となろうが、それに先立って国際共同調査が必要であろう。いずれにしても国際結婚を通じたアジアの「人口学的統合」が実現する可能性がある<sup>50)</sup>。

「謝辞」

2000年「国勢調査」外国人等の個票の目的外使用(総務省告示第27号,平成18年1月16日)については総務省統計局国勢統計課,特に近藤登雄調査官,奥野重徳指導係長(当時)に謝意を表する次第である。また、「外籍與大陸配偶生活状況調査」(2003年)の個票データの利用を許可して下さった中華民国内政部とそのためにご尽力いただいた林季平博士(中央研究院社会科学研究センター副研究員)に謝意を表する次第である。なお,本研究は「国勢調査」個票の目的外使用の承認を受けた平成16~18年度厚生労働科学研究費補助金政策科学推進研究事業「人口減少に対応した国際人口移動政策と社会保障政策の連携に関する国際比較研究」(主任研究者:千年よしみ国立社会保障・人口問題研究所室長)の一環としてなされたものである。

参考文献

伊藤正一(2005)「台湾における少子化と少子化対策」『人口問題研究』第61巻第2号, pp.40-62.  
 伊藤達也(1990-91)「国際結婚とは」,「配偶者の国籍」,「続・配偶者の国籍」,「国際結婚と国際人口移動」,  
 「ハーフの動向」『世界と人口』No.197, 198, 199, 201, 202.  
 桑山紀彦(1995)『国際結婚とストレス—アジアからの花嫁と変貌するニッポンの家族—』明石書店。  
 小島宏(1989)「国際結婚」『統計』第40巻第2号, pp.18-25。  
 小島宏(1992 a)「国際移動者と結婚」『人口問題研究』第48巻第1号, pp.28-39。  
 小島宏(1992 b)「国際移動者と出生力」『人口問題研究』第48巻第2号, pp.38-48。  
 小島宏(1996)「フィリピンから日本への人口移動」日本労働研究機構編『労働市場の国際化とわが国経済社会への影響—アジア・太平洋地域の労働力移動—』日本労働研究機構, pp.77-110。  
 小島宏(2004)「子どもに関する意識の規定要因—JGSS-2000/2001/2002と台湾社会変遷基本調査2001の比

49) 中華民国行政院(2006)。

50) 小島(2006c)。

- 較分析——」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [3] JGSS で見た日本人の意識と行動』(東京大学社会科学研究所 (資料第24集), pp. 1-11.
- 小島宏 (2005 a) 「日本と台湾における結婚行動の規定要因——NFRJ-S 01 と TSCS-2001の比較分析——」熊谷苑子, 大久保孝治編『コーホート比較による戦後日本の家族変動の研究 (全国調査「戦後日本の家族の歩み」報告書 No. 2)』日本家族社会学会・全国家族調査 (NFRJ) 委員会, pp. 45-59.
- 小島宏 (2005 b) 「特集 韓国・台湾・シンガポール等における少子化と少子化対策に関する比較研究: 少子化対策の潜在的効果の検討を中心とする序論」『人口問題研究』第62巻第2号, pp. 1-22.
- 小島宏 (2005 c) 「台湾における『国際結婚』カップルの家族形成」『第15回日本家族社会学会報告要旨』, pp. 52-53.
- 佐竹眞明, メアリー・アンジェリン・ダアノイ (2006) 『フィリピン-日本国際結婚——移住と多文化共生』めこん.
- 施利平 (1999) 「国際結婚夫婦の婚姻満足度を規定する諸要因」『家族研究年報』第24号, pp. 33-46.
- 竹下修子 (2000) 『国際結婚の社会学』学文社.
- 竹下修子 (2004) 『国際結婚の諸相』学文社.
- 原俊彦 (1996) 「国際結婚と国際児の出生動向」『家族社会学研究』第8号, pp. 67-79.
- 松本邦彦 (1995) 「調査報告/外国系住民に対する山形県内自治体事業調査」『山形大学法政論叢』第4号, pp. 79-118.
- 山形県 (2003) 『「日本語を母語としない児童生徒と保護者を対象とするアンケート調査」報告書』.
- 渡辺雅子 (2002) 「ニューカマー外国人の増大と日本社会の文化変容——農村の外国人妻と地域社会の変容を中心に——」宮島喬・加納弘勝編『国際社会2 変容する日本社会と文化』東京大学出版会, pp. 15-39.
- Bumpass, Larry (1970), "The Trend of Interfaith Marriage in the United States," *Social Biology*, Vol.17, No. 4, pp.253-259.
- Cahill, Desmond (1990), *Intermarriages in International Contexts*, Quezon City, Scalabrini Migration Center.
- Chen, Yu-Hua (2005), "Changing Marital Behavior and Its Impact on Fertility and Aging in Taiwan," Paper presented at the International Conference on Low Fertility and Rapid Aging in East and South East Asian Societies, Dong-A University, Pusan, Korea, October 21, 2005.
- Commission on Filipinos Overseas (1993), *The 1981-1990 Statistical Compendium on Filipino Emigration*, Manila, Commission of Filipinos Overseas.
- Goldstein, Sidney, and Alice Goldstein (1983), *Migration and Fertility in Peninsular Malaysia: An Analysis Using Life History Data*, Santa Monica, RAND Corporation.
- Hara, T., T. Ueki and M. Murakami (1994), "Estimate of the Number of International Children in Japan, Based on Trends in Intermarriage," *International Journal of Japanese Sociology*, No.3, pp.29-43.
- Hong Xoan, Nguyen Thi, and Graeme Hugo (2005), "Marriage Migration between Vietnam and Taiwan: A View from Vietnam," Paper presented at the CEPED-CICRED-INED Seminar on Female Deficit in Asia: Trends and Perspectives, Singapore, 6-7 December 2005.
- Han, Jialing (2005), "The Immigration of Asian Women under Globalization: the Case Study on Mainland China Brides in Taiwan," Paper presented at the Women's Worlds 2005, June 19-24, Seoul, Korea.
- Hudson, Valerie M., and Andrea M. den Boer (2004), *Bare Branches: The Security Implications of Asia's Surplus Male Population*, Cambridge, MA, The MIT Press.
- Johnson, Robert A. (1980), *Religious Assortative Marriage in the United States*, New York, Academic Press.
- Khoo, Siew-Ean (2003), "Marrying and Migrating to Australia: Asian Spouses in Intra- and Inter-Cultural Marriages," *Asians on the Move: Spouses, Dependents and Households (Asian MetCentre Research Paper Series, No.8)*, pp.26-46.

- Kojima, Hiroshi (2006 a), "Variations in Demographic Characteristics of Foreign-Muslim' Population in Japan : A Preliminary Estimation," *The Japanese Journal of Population*, Vol.4, No.1, pp.115-130 (<http://www.ipss.go.jp/index-e.htm> (30 Aug. 2006)).
- Kojima, Hiroshi (2006 b), "A Comparative Analysis of Fertility-Related Attitudes in Japan, Korea and Taiwan," *F-GENS Journal (Ochanomizu University)*, No.5, pp.324-336.
- Kojima, Hiroshi (2006 c), "Population decline and its demographic correlates in Japan," European Policy Centre (ed.), *The Second EU-Japan Think Tank Roundtable, Global Governance, Brussels, 14-15 November 2005, Conference papers, European Policy Centre (EPC Issue Paper)*, pp.8-13.
- Nakamatsu, Tomoko (2002), "Marriage, Migration and the International Marriage Business in Japan," Ph.D. thesis, Murdoch University.
- Piper, Nicola (2003), "Wife or Worker? Worker or Wife? Marriage and Cross-Border Migration in Contemporary Japan," *International Journal of Population Geography*, Vol.9, No.6, pp.457-469.
- Rumbaut, R. G., and John R. Weeks (1986), "Fertility and Adaptation : Indochinese Refugees in the United States," *International Migration Review*, Vol.20, No.2, pp.428-466.
- Seol, Dong-Hoon (ed.) (2005), *Foreign Wives' Life in Korea : Focusing on the Policy of Welfare and Health - English Summary*, Seoul, Ministry of Health and Welfare.
- Tsay, Ching-lung (2004), "Marriage Migration of Women from China and Southeast Asia to Taiwan," Gavin W. Jones and Kamalini Ramdas (eds.), *(Un)tying the Knot : Ideal and Reality in Asian Marriage*, Singapore Singapore University Press, pp.173-191.
- Tu, Edward Jow-Ching, and Shaomin Li (1997 a), "Intrinsic and Extrinsic Attributes in Marriage," *Working Papers in the Social Sciences (The Hong Kong University of Science and Technology)*, No. 29.
- Tu, Edward Jow-Ching, and Shaomin Li (1997 b), "Interregime Marriage and Mobility : The Case of Mainland China and Taiwan," *Working Papers in the Social Sciences (The Hong Kong University of Science and Technology)*, No.30.
- Wang, Hong-zen (2005), "Social Ties in the Transnational Movement of Labor between Taiwan, Vietnam and China," Paper presented at Conference : Remaking Economic Strengths in East Asia, UC Berkeley, 8 - 9 April 2005.
- Wang, Hong-zen, and Shu-ming Chang (2002), "The Commodification of International Marriages : Cross-border Marriage Business in Taiwan and Viet Nam," *International Migration*, Vol.40, No.6, pp.93-116.
- Yang, Seung-ju (2006), "Republic of Korean government's integration policy for international spouses," Paper presented at the International Workshop on Migrants and the Host Society, July 12-13, 2006, Geneva.
- Yang, Wen Shan, and Ying-ying Tiffany Liu (2005), "Gender Imbalances and the Twisted Marriage Market in Taiwan," Paper presented at the CEPED-CICRED-INED Seminar on Female Deficit in Asia : Trends and Perspectives, Singapore, 6 - 7 December 2005.
- 中華民國教育部統計處 (2005) 【外籍配偶就讀國小子女學習及生活意向調查報告】。
- 中華民國行政院經濟建設委員會 (2004) 「(行政院第二八九四次會議) 現階段外籍與大陸配偶移入因應方策 (中華民國93年6月16日)」。
- 中華民國行政院經濟建設委員會 (2005) 「新世紀第二期人力發展計畫」(2005年8月23日)。
- 中華民國行政院 (2006) 「中華民國人口政策綱領」(行政院95年6月14日院臺治字第0950019554号函修正核定)。
- 中華民國內政部 (2004) 【外籍與大陸配偶生活狀況調查報告】。
- 王錫美·余清祥 (2005) 「台灣地區有配偶率與婚姻移民對生育影響之研究」2005年台灣人口學會學術檢討會發表論文。

(國立社會保障·人口問題研究所)

國際關係部長  
國際關係部長